

〈証券コード 9994〉

World Liquor System



Business

Report

第47期ビジネスレポート

■ 2016年4月1日～2017年3月31日

株式会社 やまや

第47期営業報告

平素は格別のご高配を賜り 厚く御礼申し上げます



代表取締役 会長 山内 英房



代表取締役 社長 山内 英靖

株主の皆様には、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第47期(平成28年4月から平成29年3月)事業概況をご報告申し上げます。

当社第47期における事業を取り巻く環境は、総じて緩やかな回復基調を示した国内景気にもかかわらず、個人消費においては、嗜好品を中心に消費支出や消費マインドに足踏みが見られる状況で推移いたしました。かかる環境下、当社グループ全体で「流通、販売の合理化を実践し、消費生活を豊かにすることで社会に貢献すること」と「地域社会そして世界の人々の健康で

豊かな社会の実現に貢献すること」という経営理念を共有し、ガバナンス体制の確立を推進し、グループならではの価値あるものをお客様に提供できるよう、酒販事業と外食事業の協働体制確立を推進してまいりました。当期の連結業績は、残念ながら減収減益となりましたが、グループ全社一丸となって、業容の回復・拡大に向けて考動(こうどう)してまいります。

引続き、当社連結事業への変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

代表取締役会長 山内 英房

代表取締役社長 山内 英靖

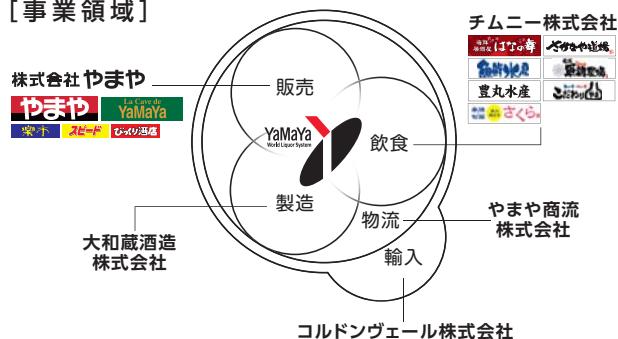
[経営理念]

株式会社やまやは「流通、販売の合理化を実践し、消費生活を豊かにすることで地域社会に貢献する。」というやまやグループ経営理念、そして、三方善(さんぽうよし)の考えを基にしたやまやグループ行動規範を実践しています。

三方善とは、「売り手善し、買い手善し、世間善し」すなわち、一方、自分。二方、相手方。そして第三方、社会一般。の三方が、それぞれに善い状態に保つことを言います。

株式会社やまやは、お客様、お取引様、我々の主体性の三方を衡平(こうへい)に考え、経営理念実現のため、日々、この三方善の信条を以って考動(こうどう)してまいります。

[事業領域]



酒販事業ビジネストピックス

お客様の嗜好の変化や節約・低価格志向が顕在化し、相次ぐ天災と不順な天候の影響もあいまって、酒販業界全体として低調に推移するなか、業種・業態を超えた競争は厳しさを増し、酒販事業セグメントを取り巻く経営環境は依然として厳しい状態が続いています。かかる環境の下、お客様の身近な催事に適した商品・サービスの早期提案・提供を意識的に実行することで専門店として実直にお客様の信頼に添えてまいりました。平成28年5月にはお客様への小売サービス拡充の一環として、これまでの楽天Edyに加え、「電子マネー WAON」と「Suica等の交通系電子マネー」による決済の全店導入を行いました。また平成28年11月には、株式会社NTTドコモが提供する「dポイント」加盟店としてのサービス提供を強化いたしました。

大和蔵酒造では、映画「殿、利息でござる!」に関連したお酒「殿の春風」を復刻、10,800本を販売し好評を博しました。さらに、代表銘柄である「雪の松島 大吟醸」が全国新酒鑑評会において2年連続金賞受賞の栄誉に輝きました。

拡大する通信販売市場において、やまや楽天市場店が、楽天市場株式会社より「ショップ オブ ザ イヤー 2016 日本酒・焼酎ジャンル賞」を受賞いたしました。

グループの物流部門を支えるやまや商流では、大阪・兵庫

エリアの新しい物流拠点として大阪南港センターを開設、酒販事業店舗への配送のみならず外食事業店舗への配送も開始し、グループのシナジー戦略を進めています。

関東・東北地方を中心に、ダイソー併設3店舗を含む13店舗を新規出店し、関西地方にて2店舗の屋号変更を行いました。この結果、平成29年3月末における総店舗数は334店舗となりました。うち、ダイソー併設店舗は31店舗、訪日外国人旅行者向け消費税免税販売対応店舗は61店舗となります。

特に、外食事業との協業として、平成29年3月、宮城県仙台市内に同一敷地内同時出店を実現させ、共同開発メニューの提供に加え、日本酒商品もBYOサービスの対象としました。

本年度に向けて酒販事業では、主力である国産ビールのみならず、ドイツ産ホップを贅沢に使用してリニューアルした「ぐぐっと生」をはじめ、ロシア、ニュージーランドなど世界各地のビールの取扱いを強化しております。和酒部門では、伊達政宗公の生誕450周年の今年、記念酒として「松島の月」を限定醸造いたしました。「伊達之都」とともに、メモリアルイヤーの販売を強化いたします。また、いま注目を集めるオーガニック素材のワインやフードの取扱いを強化、より身近で新しい食文化を提案してまいります。



WAON決済



「dポイント×やまや」コラボカード



雪の松島 (平成28酒造年度全国新酒鑑評会・金賞)



殿の春風

©2016「殿、利息でござる!」製作委員会



伊達之都



松島の月

ぐぐっと生

■ 外食事業ビジネスピックアップ



炭火やきとり さくらの串焼き



共同開発メニュー 若鶏の酒粕焼き



仙台六丁の目共同出店 さかなや道場



炭火やきとり さくら (田原町店)

外食業界においては、生活の様々なシーン毎に多様化するお客様の嗜好の変化や他業種を含めた顧客獲得競争は激化の一途をたどり、依然として厳しい経営環境が続いています。

このような事業環境の下、平成28年2月の本社移転に続き、新本店の移転も完了し、これまで以上に価値あるものをお客様に提供する環境を整えてまいりました。漁港直送鮮魚の調達を拡大するなど六次産業化と地産地消・地産全消の推進は継続的かつ積極的に取り組んでいます。平成28年3月に東京都大田区の東京中央卸売市場内に「大田市場チムニー株式会社」を設立し、羽田空港に近い地の利を

活かし、全国各地からの水産物調達網の強化と、関東エリアへの迅速な食材配送体制を構築しました。直営事業においては、山陰山陽四国地方への出店を強化してきました。平成28年11月に「串焼・旬菜 炭火やきとり さくら」を徳島県に初出店し、全国47都道府県へのチムニーブランド店舗の出店を達成しました。新業態開発は、希少な「アイスランドシープ」を使用した「ジンギスカン 札幌物語」の1号店の出店、「ヴィオニス(シャンパン専門バー)」や「東京ぶどう酒店」など、特徴のある新業態開発・開拓とその育成に取り組んでまいりました。

CSR・EHSへの取り組み

事業活動を通じて、また事業活動の枠を超えて「社会的責任を果たすこと」そして「より豊かな世の中の実現と、持続的な発展をめざすこと」その想いに基づいて、やまやグループではさまざまな活動を行っています。リサイクル活動のひとつとしては、空瓶・空き缶の回収やご家庭の古新聞・古雑誌・ダンボールの回収に従前から取り組んでいます。地球環境にやさしい持続型資源循環社会の実現に向けて環境保全にも努め、地域社会への貢献を続けてまいります。

さらに、「社会の一員」として地域に密着した活動にも積極的に参加。災害募金活動や地域植樹活動など社会貢献活動を進めています。

スポーツ支援・社会福祉活動においては、宮城県に本拠を置くプロスポーツ球団への協賛支援のみならず、スペシャルオリンピックス日本・宮城のシルバースポンサーも務めるなど、今後も穏やかで心豊かな社会の実現に貢献してまいります。



植樹活動



海をきれいにする会



リサイクル活動



ユアテックスタジアム

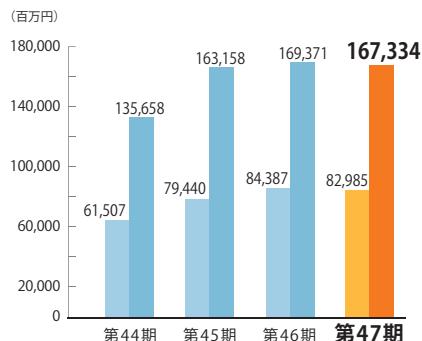


Koboパーク宮城

連結財務ハイライト

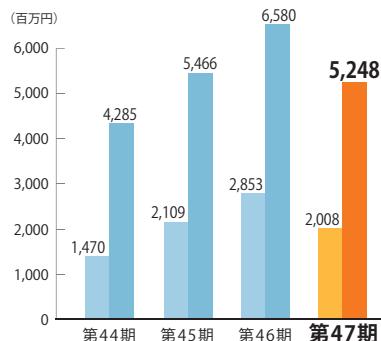
連結売上高

■ 中間期 ■ 通期



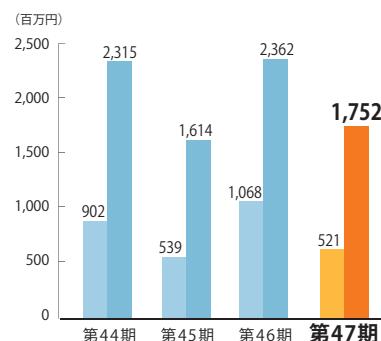
連結経常利益

■ 中間期 ■ 通期



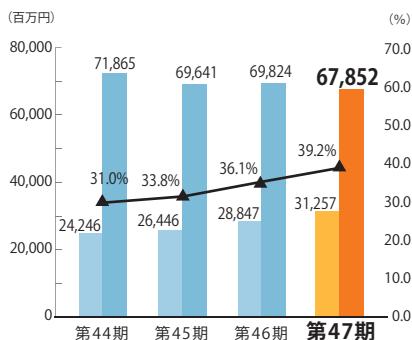
親会社株主に帰属する当期純利益

■ 中間期 ■ 通期



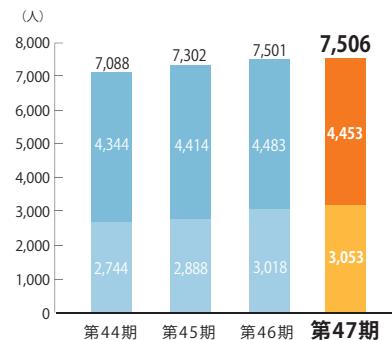
連結資産の状況

■ 純資産 ■ 総資産 ▲ 自己資本比率



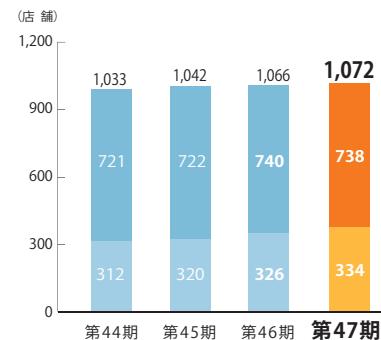
従業員数の推移

■ 酒販事業 ■ 外食事業



店舗数の推移

■ 酒販事業 ■ 外食事業



※2017年3月31日現在

※2017年3月31日現在

会社概要

会社概要 (2017年3月31日現在)

会社名	株式会社やまや
英文社名	YAMAYA CORPORATION
本社所在地	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号
設立年月日	1970年11月26日
資本金	32億4,733万円
従業員	(酒販)3,053名 (外食)4,453名 (計)7,506名
主要な事業内容	酒類・食品類の輸入及び小売・卸売 通信販売、外食事業
ホームページ	http://www.yamaya.jp
主要連結子会社	やまや商流株式会社、大和蔵酒造株式会社 やまや関西株式会社、やまや北陸株式会社 チムニー株式会社
上場取引所	東京証券取引所 第1部(証券コード9994)

株式の状況 (2017年3月31日現在) ※自己株式は5,485株です。

発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式総数	10,847,870株
株主数	2,873人

大株主 (上位10名) ※持株比率は自己株式(5,485株)を控除して計算しています。

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
■ 山内コンサルタント株式会社	2,476,000	22.83
■ 山内英靖	2,169,640	20.01
■ イオン株式会社	2,072,730	19.11
■ 山内浩晶	325,260	2.99
■ 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	301,500	2.78
■ 株式会社七十七銀行	220,000	2.02
■ 山内英房	197,960	1.82
■ 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	156,400	1.44
■ RBS ISB A/C LUX NON RESIDENT/DOMESTIC RATE-UCITS CLIENTS ACCOUNT	122,100	1.12
■ 山内一枝	85,800	0.79

【株式メモ】

- 事業年度: 毎年4月1日から翌年3月31日まで ●定時株主総会: 毎年6月開催
- 基準日: 定時株主総会(毎年3月31日)、期末配当金(毎年3月31日)、中間配当金(毎年9月30日) そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日。
- 株主名簿管理人/特別口座/口座管理機関: 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先: 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号(電話0120-232-711/通話料無料)
- ホームページ: <http://www.yamaya.jp> ●上場取引所: 東京証券取引所 第1部(証券コード9994)
- 公告: 電子公告により行います。<http://www.yamaya.jp/pages/ir/koukoku/index.html>
やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

期末配当金のお支払いについて

期末配当金関係書類につきましては、6月5日付で「第47回定時株主総会招集ご通知」に同封して、単元未満株式保有の方には別途、お届出ご住所あてにお送り申し上げておりますので、「期末配当金領収証」により、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)で払渡期間内(平成29年6月6日から平成29年7月5日まで)に、期末配当金をお受取りください。銀行等口座振込ご指定の方、株式数比例配分方式(株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)を通じて配当金を受領する方式)を選択された方につきましては、6月5日にお届出ご住所あてにお送り申し上げました「期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認」のご案内のとおりでございますので、ご確認ください。株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込内容につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問合せください。

■ 店舗ネットワーク 酒販事業／外食事業

グループ総店舗数

1,072 店舗 ※

酒販事業



334 店舗 ※

(酒販事業免税販売店舗数61店舗 ※ TAX-FREE DS)

外食事業



738 店舗 ※

※ 2017年3月末現在

